

2026 年 1 月 5 日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

## 「ミャンマー総選挙最新情報と旅券(パスポート)発給の迅速化」

### ミャンマー総選挙最新情報

2025 年 12 月 28 日、ミャンマーにおいて第 1 回目となる総選挙が実施されました。今回の総選挙は地域ごとに 3 回に分けて行われる予定で、第 2 回は 1 月 11 日、第 3 回は 1 月 25 日に実施される見込みです。前回(2020 年 11 月)の選挙で圧勝した民主化指導者アウンサンスーチー氏率いる政党が解党されるなど、民主化勢力の政党はほとんど参加していません。国営メディアが発表した選挙管理委員会の開票結果によると、1 月 4 日時点で下院定数 96 議席のうち 87 議席を、国軍系政党である連邦団結発展党(Union Solidarity and Development Party、略称:USDP)が獲得したとされています。また、投票率については、国営メディアによれば第 1 回目は有権者の 52.1%であったと伝えられています。

一方、民主化系メディアによると、12 月 28 日に実施されたヤンゴン管区内 12 郡区における投票率は 50%を下回り、地域によっては 24~31%程度であったとも報告されています。私自身も投票当日、ヤンゴン市内数か所の投票所を訪れましたが、懸念されていたほどには警備が厳しい印象はありませんでした。投票後には二重投票防止のため左手小指にインクを付ける仕組みとなっていますが、夕方に投票対象エリアを歩いた限りでは、インクを付けた人の姿はあまり見られませんでした。投票当日のヤンゴン市内は、投票所周辺を除けば大きな変化は見られず、全体としては日常とほぼ変わらない様子でした。

### 旅券(パスポート)発給の迅速化

2026 年 1 月 1 日より、緊急で海外へ渡航する必要がある場合に対応した「特急パスポート」の発給が開始されました。本制度では、申請から 5 日以内にパスポートが発給されると発表されています。発給手数料はパスポート冊子代を含めて 545,000 チャット(約 21,800 円)です(通常の発給手数料は 45,000 チャット(約 1,800 円))。特に昨年の徴兵制発表以降、海外渡航を希望する若者が急増した影響で、一時的にパスポートの発給が困難な状況となり、ブローカーを介して申請するケースも多く見られました。しかし、正規の手続きを踏めば、現在は問題なく発給されています。なお、ブローカーを利用した場合の費用は、30 万チャット~100 万チャット(約 12,000 円~約 40,000 円)とされています。海外就労や海外渡航に関して軍政府による各種制限が設けられているものの、パスポートの発給自体が著しく困難という状況ではなく、通常であればオンライン予約や事務手続きを含め、申請から発給まで 10~14 日程度で発給されています。

以上